

文化プログラムの推進に向けた取組

資料8-1

平成28年11月
内閣官房オリパラ事務局

2020年は、文化プログラムを通じて日本の文化を世界に発信する絶好の機会。この機会に、2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことが求められている。こうした観点から、内閣官房においては、①オリパラ基本方針推進調査、②beyond2020プログラムを推進しているところ。

①オリパラ基本方針推進調査

大会の機運醸成に向けて特別に実施される要素(多言語対応・バリアフリー対応等)を含む文化イベントについて、試行プロジェクトを実施することにより、その効果と課題を分析。

- ・平成28年度当初予算 3.0億円
- ・一件1000万円上限
- ・27件採択
- ・採択案件の分野:相撲、流鏝馬、花火、落語、ファッション、和食、障害者芸術等

【採択案件の例】

(事業名)大相撲beyond2020場所

(実施時期)10月4日(火)

(場所)両国国技館

(概要)日本文化の体現者たる「相撲」の国際発信力や障がい者のアクセス性を強化するべく、両国国技館の枡席を外国人客で埋め尽くし、外国語対応が可能な和装スタッフによる対応、英語による解説など配した一日特設イベントを行う。プロジェクトを通じ多様性に応じた導線のあり方、座席位置、案内等の運営検討、実証的データを整備するとともに、日本文化や大相撲の魅力を国内外に発信し、機運醸成につなげる。



②beyond2020プログラム

2020年以降を見据え、レガシー創出に資する文化プログラムを「beyond2020プログラム」として展開し、多様な主体が実施するアクションを認定。また、認定されたアクションを総覧できる「beyond2020カルチャーカレンダー」(仮称)を制作し、我が国の多様な文化活動を発信。

【参考】組織委員会は、大会の機運醸成に向けた参画促進を図るため、「東京2020公認プログラム」及び「東京2020応援プログラム」を開始し、スポンサー企業や非営利団体等が実施するアクションを認証。

		東京2020公認プログラム	東京2020応援プログラム	beyond2020
イベント・事業等実施主体	スポンサー企業	○	—	○
	国	○	—	○
	開催都市 (東京都、都内区市町村)	○	—	○
	会場所在 地方自治体	○	—	○
	地方自治体 (会場所在地方自治体以外)		○	○
	非営利団体 (NPO、NGO等)		○	○
	ノンスポンサー企業			○